

事前評価チェックシート

計画の名称： 高速道路 I C 等へのアクセス向上による地域活性化支援

事前評価	チェック欄
I．目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。（計画名：新・せとうち田園都市創造計画）	○
I．目標の妥当性 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II．計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II．計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II．計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III．計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III．計画の実現可能性 全体事業費、要素事業費の額が適切である。	○
III．計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年01月28日

計画の名称	高速道路 I C 等へのアクセス向上による地域活性化支援													
計画の期間	令和 0 3 年度 ~ 令和 0 7 年度 (5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	香川県													
計画の目標	高速道路 I C、鉄道新駅、工業団地へのアクセス道路の整備を行い、利用者の移動の利便性向上を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		3,873	A	3,873	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	I C、鉄道新駅、工業団地から周辺の幹線道路までの所要時間の短縮			
	所要時間の短縮率	0%	3%	6%
	時間短縮率（ % ） = 1 - Σ（ 完成後の所要時間 ） / Σ（ 現況の所要時間 ）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	○
第 2 期かがわ創生総合戦略推進計画 A01-001 ~ A01-003												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	香川県	直接	香川県	都道府 県道	改築	（一）太田上町志度線・ 六条工区	バイパス 1.00km	高松市	■	■				500		-	
	A01-002	道路	一般	香川県	直接	香川県	国道	改築	（国）国道４３８号・飯 山工区	バイパス 5.13km	丸亀市、坂出市	■	■	■	■	■	1,824		-	
	A01-003	道路	一般	香川県	直接	香川県	国道	改築	（国）国道４３８号・綾 歌工区	現道拡幅 0.70km	丸亀市	■	■	■	■	■	1,264		-	
	A01-004	道路	一般	香川県	直接	香川県	都道府 県道	改築	（一）大屋富築港宇多津 線・番の州公園工区	交差点改良 0.57km	坂出市、宇多津 町	■					70		-	
	A01-005	道路	一般	香川県	直接	香川県	都道府 県道	改築	（一）国分寺太田上町線 （成合・鹿角工区）	バイパス 1.4km	高松市					■	■	200	1.4	-
	A01-006	道路	一般	香川県	直接	香川県	国道	改築	（国）国道４３８号・岡 田上工区	バイパス 1.80km	丸亀市						■	15	1.1	-
												小計						3,873		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						3,873		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	407	372	367		
計画別流用増 減額 (b)	32	0	0		
交付額 (c=a+b)	439	372	367		
前年度からの繰越額 (d)	0	206	197		
支払済額 (e)	232	381	316		
翌年度繰越額 (f)	207	197	248		
うち未契約繰越額(g)	78	47	33		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	17.76	8.13	5.85		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算の年度内執行が困難であったため				

[illegible]

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用し作成したものである。（平29四使 第1号）